

東北大学大学院情報科学研究科

(1)	シンポジウム開催支援経費 実績報告書	
タイトル	第3回仙台数論及び組合せ論小研究集会	
(2) 主催者	宗政昭弘教授 今井秀雄助教授 田谷久雄助手	
期 日	2007年1月29日(月)から30日(火)の間(2日間)	
会 場	情報科学研究科棟2階大会議室	
出席者数(講師・パネリスト等を除く)	約 40 名	
講師・パネリスト 等の氏名・勤務先 等	八森祥隆(慶応大学理工学部助教授) 田村宏樹(東北大学情報科学研究科研究生) 中野 伸(学習院大学理学部助教授) 中空大幸(岡山大学理学研究科博士研究員) 佐藤 篤(東北大学理学研究科助手) 関口次郎(東京農工大学工学部教授) 岩崎史郎(一橋大学経済学研究科教授) 小松 亨(九州大学数理学研究院 COE 研究員) 中川暢夫(近畿大学理工学部助教授) 岡野恵司(早稲田大学理工学研究科助手) 本間正明(神奈川大学工学部教授) 千田雅隆(東北大学理学研究科 D3)	
(3) 目 的	符号理論や暗号理論などの情報理論とそれを支える数論及び代数的組合せ論に関する研究拠点を当研究科に形成することを目的とし、この分野の専門家を招き、研究討議及び情報交換の場とする。	
(4) 内 容	数論及び代数的組合せ論の専門家12名の研究者が講演を行った。	
(5) 情報科学研究科 にとっての意義・貢献度	この研究集会は1997年からほぼ継続的に開催されており、全国的に定期行事として認知されつつある。過去の集会の研究報告もインターネットで公開することにより、研究の伝統を全国に発信することができ、大学院生の獲得のための宣伝効果は大変に大きいと思われる。	

注 (1) 「シンポジウム開催支援経費」「学際的研究プロジェクト支援経費」より、該当する項目を記載してください。

(2) 当学術企画実施の代表者もしくは責任者及び協力者名を全員記載してください。

(3) 当学術企画を実施した目的を簡潔に記載してください。

(4) 実施された当学術企画の内容を簡潔に記載してください。

(5) 大学院情報科学研究科に対する当学術企画の意義や貢献度を簡潔に記載してください。